

2017年度 第2回OP協会理事会議事録

日本 OP 第 5-17-04 号

日時 : 平成 28 年 12 月 3 日 (土) 10:30~17:30

場所 : フォーシーズ会議室

参加者 : 濱本理事長、矢野副会長、花田副理事長、高山副理事長、荒川理事、青野理事、
中村理事、山田理事、服部理事、須河内理事、檜皮監事、岡田 (順不同)

欠席者 : 西村理事、松尾理事、秋山監事

議事録作成 : 岡田 確認者 : 荒川理事 (東日本)、花田副理事長 (西日本)

【挨拶】

議事に先立ち、濱本理事長から就任の挨拶があり、OP 協会の基盤確立のために尽力したいとの話があった。財務基盤の拡充については、急には難しいが着実に進め各委員会で具体的な検討を開始し各委員会・理事が協力して行うこととした。

その後、上記議事録作成者と確認者を決定し、濱本理事長を議長として審議を実施した。

審議事項

議題 1 OP 協会組織・スケジュール 濱本理事長・花田副理事長

(1) 2017 年度の組織図の検討を行った。

- ・各委員会については、引き続き前年度の委員を継続とした。
- ・50 周年実行委員会を組織し、担当理事を決定した。
- ・HP への公開とする。

(2) 協会主催レース年間スケジュールの確認

- ・ 2017 年度 JODA ナショナルチーム最終選考会
日程 : 2017 年 3 月 18 日 - 21 日
開催地 : 神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー
- ・ 第 35 回東日本オブティミスト級セーリング選手権大会
日程 : 2017 年 8 月 18 日 - 20 日 (予定)
開催地 : 検討中
- ・ 第 40 回西日本オブティミスト級セーリング選手権大会
日程 : 2017 年 8 月 18 日 - 20 日 (予定)
開催地 : 佐賀県唐津市 佐賀県ヨットハーバー
- ・ 第 33 回全日本オブティミスト級チームレース選手権大会
日程 : 2017 年 9 月
開催地 : 広島県広島市 観音マリーナ

- ・ 第 49 回全日本オペティミスト級セーリング選手権大会

日程： 2017 年 11 月 23 日－26 日

開催地： 東京都江東区 若洲ヨット訓練所

(3) その他

- ・ スポンサーとの連携強化を理事長・副会長中心に行う。
- ・ JSAF との連携についても一部着手しており、継続実施していく方針。
スケジュール化し行っていくこととした。

議題 2 計測委員会 荒川理事

(1) 計測講習会

- ・ 四国 高松で 香川県ヨット連盟、B&G 高松海洋クラブの協力を得て 2016.2..25-26 (土日) を予定している。
- ・ 対象は ①OP 級準計測員、②OP 級公式計測員、③ERS 資格の更新である。
- ・ ①は知識普及が主となるため ERS 資格を必要とせず 25 日 (土) 1 日で修了。
- ・ ③については次年度が全クラスの ERS 資格の更新期であるため、26 日 (日) を他のクラスと合同する ERS 資格の更新講習会とする。

(2) IM (国際計測員) 育成の支援

- ・ 村松氏が IM 筆記試験に合格したので、資格取得に必要な実技研修として国際大会の大会計測への参加を行っていき、国内では選考会にて計測委員長として任命する。

(3) ダガーボード (ファーイースト製)

- ・ 規則よりも軽いダガーボードを、上部のバテンの間に空洞を作りその中にウェイト (金属) を入れて調整されていた事実が報告された。クラスルールに鑑み、IODA への報告と対応を行う。
 - ① 事実を HP にて公開
 - ② IODA へ報告し対応を協議
 - ③ IODA の対応決定には時間を要するため、IODA から本件への通告があるまでは、すでに発行された計測証明は有効とし、大会での使用を認める。
 - ④ 新しい状況が判明次第 HP お知らせする。
 - ⑤ 2017 年 3 月の選考会については、重量的には他の艇との差が無い事を根拠とし、本件に対する無用な混乱を避けるために使用を認める。
- ・ 同様のダガーボードを利用している選手への対応については、状況をみて理事会にて協議対応する。

議題 3 強化・海外派遣委員会 岡田

(1) 最終選考会

- ・ 2017.3.18 (土) ~21 (火) 江の島ヨットハーバーにて行う。

各 NT 大会の NOR 公示に従って内定者を選出することとする。

(2) NT 合宿

- ・2017.5.3 (水・祝) ~5 (金・祝) 和歌山セーリングセンター
- ・コーチ招聘について各理事にて検討する。

(3) イヤーブック、全日本パンフレット

- ・費用の問題もあり、データでの公開、部数削減等も検討し合理化を検討。
- ・紙面も最低数は必要であるので、工夫して作成する。

(4) 全日本大会

- ・スポンサーへの協賛御礼対応を行う。

議題 4 普及育成委員会 青野理事

(1) 各大会での記事を外部へ発信

- ・2017 最終選考会については、随時記事を作成し外部情報機関へ送付する。
- ・OP 協会 Facebook を現地で有効活用する。

(2) 地区大会

- ・沖縄(座間味)での交流事業について、OP 協会の後援等の協力依頼があり対応することとした。
- ・以前、出前コーチ事業を行っていた関係で、現地に OP クラブが作られた。今回は、合宿的な要素が多いが試験的に行い、今後の活動推移や現地との協力関係を構築する。

(3) 艇の有効活用

- ・各クラブにて不要な艇(使用は可能)がある場合は他クラブへの譲渡も考えて情報交換を行っていく。

議題 5 レース委員会 花田副理事長・中村理事・服部理事

(1) OP 協会主催レースの状況。

- ・葉山新港にてハーバー工事が予定され工期が未定。東日本大会開催ができないことも想定し東日本理事において情報収集し、対応することとした。
- ・主催レースの担当理事を決定した。

(2) 2018 年の JODA ナショナルチーム最終選考会開催地

- ・選考会概要の説明があり、HP 公開のうえ公募を行うこととした。

(3) 2017 全日本開催期間の検討

- ・選手の学業、他大会との兼ね合い、休日、開催地の受け入れ態勢等総合的に判断し上記 2017 年 11 月 23 日-26 日の下旬の休日を利用して行うこととした。
- ・レース方式：ゴールド、シルバーフリート方法についても検討を要する。
- ・東日本大会については、従来から 2 フリートで行っておりゴールド・シルバー方式の検討も行う。

- (4) 枠付きレースの状況
 - ・本年度すでに開催されたレースについての報告があった。
- (5) 選考会
 - ・参加理事等を確認し、内定選定・NT チームへの連絡事項等の事前準備内容を協議した。
 - ・後援申請等の手続きを行う

議題 6 総務委員会 高山副理事長

- (1) 選考会向け書類
 - ・運営クラブとの委託覚書の対応、学校むけ派遣依頼文書の対応をする。
- (2) 2016 福岡全日本
 - ・委託覚書、スポンサー他対応、持ち回りカップ刻印、総会・第一回理事会議事録対応。
- (3) その他
 - ・JSAF との連携依頼と回答を行った。
 - ・海外レースについて協会クラブへ案内を行った。その他海外ビルダーからの宣伝、JSAF 対応等を行い、今後も継続して行う。
 - ・ロシアからの中古艇依頼は、各クラブへ協力をお願いする。
 - ・エクアドルからの OP セーラー短期留学につきクラブからの協力により対応できた。
 - ・各地大会からの公認依頼対応の報告があった。
- (4) 50 周年委員会
 - ・初回開催を 12/4 (日) に行うことになった。委員会の体制を確認し中心となって進めていただくようお願いする。
 - ・海外レースの案内について、HP にて公開することとした。

議題 7 会計報告 服部理事

- (1) 会計の進捗報告
 - ・イヤーブック協賛金、計測会計についての報告、計測講習会の参加費・経費精算、郵貯送金の件、全日本・選考会経費精算等実務上の残業務、合理化、透明化について討議がされた。
 - ・理事長変更に伴い協会の口座変更手続きを行う。
- (2) 現在の収支報告
 - ・委員会別の 2016 年度収支の報告があった。各委員会で事業予算を事前に提出し運用することとしているので実行する。
 - ・今年度より 50 周年事業が開始。総会で承認された事業予算(積立)と今後の事業資金の利用目的が協議された。

次回理事会を平成 29 年 5 月 13 日予定とした。

以 上

議事録確認理事 東日本水域 荒川理事
西日本水域 花田理事

作成 岡田